



## 2006-2007 年度 第 33 回例会

# 宇都宮南ロータリークラブ 会報

会長:小保方 信聰 幹事:関 享一 会報委員長:平澤 照隆  
 例会場及び例会日:ホテルニューイタヤ(水曜 12:30)  
 事務所:宇都宮市大通り 2-4-6 (ホテルニューイタヤ)  
 TEL : 028-613-3238 (村上方) e-mail:minamirc@s7.dion.ne.jp



通算第 1235 号

平成 19 年 2 月 28 日  会員 50 名 出席 34 名

## 率先しよう

### ◆ 司 会 S. A. A 荒井 君

\* ロータリーソング「それでこそロータリー」

### ◆ ビジター紹介 菅野 委員

\* 宇都宮陽南 RC 石橋 正行 様・池田 幸子 様・浅川 信明 様・青島 俊一 様  
 生井 俊一 様・大塚 俊夫 様・大出 崇夫 様・中村 勝 様

### ◆ 会長挨拶 小保方 会長

皆さんこんにちは。

昨日の会長幹事会終了後、「南 RC25 周年記念式典は皆で作上げた感じがして大変よかった」他クラブの皆さんにお褒めのことばを賜りました。私はこれ以上の嬉しいことばはなく、皆様全員で作上げた事が南クラブの特色と思い、皆様には本当にご苦労様でしたと感謝申し上げます。この後、日を定めまして実行委員会の解散式と反省会を兼ねて行いたいと思っております。

読売新聞のコラムで米国の方が日本の漢字に大変興味を示された記事が載っておりました。「心」というのはコロコロと回転するから「心」という方もいらっしゃいます。確かに私もそう思いますが、「心」に芯張り棒を一本入れると必要の「必」の字になり、「必ず」というきちんとした精神が入るとその方はおっしゃっていました。漢字には成り立ちやそれなりの歴史がございますが、日本人は比較的無頓着でどんどん簡略化して参りました。そして、漢字の持っている意味を大切にしなくなりました。漢字は覚えにくいとか試験の時に覚え易いように簡単に、という事とは全く違うと思えます。改めてこのコラムの米国の方に教わりました次第でございました。

会員数	50 名	2 月 14 日
出席数	34 名	訂正率 73.33%
欠席数	16 名	
出席率	66.66%	

## 次回例会予定

平成 19 年 3 月 7 日(水)

外部卓話

「刑務所出所者等就労支援事業

について」

宇都宮保護観察所長 関根 寿明 様

## ◆ 幹事報告 関 幹事

- 1) 過日のクラブ創立 25 周年記念式典に対しまして、実行委員会役員の皆様、並びに委員の皆様には厚く御礼を申し上げます。本年度最大のイベントが終了致しました。無事に閉会する事が出来たのも偏に委員の皆様方の温かいお力添えだと思います。クラブ役員一同感謝申し上げます。
- 2) 2月19日当クラブの設立時の拡大補佐であります田島光男様の叙勲祝賀会に会長幹事で行って参りました。
- 3) 2月27日第2回GSE打ち合わせ会が開催されました。今年度受入期間5月4～9日、受入クラブ宇都宮陽南RC・宇都宮RC・宇都宮北RC・宇都宮陽北RC・宇都宮南RC(ホストファミリー大野会員)
- 4) 2月27日第3グループA・B第3回会長幹事会が開催されました。今回の会議は次年度の会長幹事も出席致しました。
- 5) 親睦家族会主管の親睦ゴルフコンペ開催に奮ってのご参加をお願い致します。(受付 鈴木親睦委員長)
- 6) 第2550地区第3グループ協賛の映画「ビリーブ」のチケットを配布致します。  
上映日 3月10日(土) 場所 栃木県教育会館
- 7) 宇都宮陽南RCより3月15日(木)に特別企画として「江戸の桜と屋形船で江戸前料理」のお誘いが届いております。参加ご希望の方は幹事までお申し出下さい。
- 8) クラブ課外教養講座開催のお知らせ  
第1回目 「賢い相続事業継承対策と相続税務調査の知識について」  
講師 荻原会員・田中会員

## ◆ スマイルボックス委員会 高田 委員

- \* 阿部会員 当RC25周年記念イベント皆様ご苦労様でした。明日から3月溪流釣り解禁、楽しみの河川へレッツゴーです。
- \* 半貫会員 健康で25年の皆出席を迎えることが出来ありがとうございます。
- \* 笠原会員 一人娘を嫁がせました。希望に彩られた未来と混迷の第二の人生を迎えた娘を遠く見守ってやりたいと思います。結婚式の為、当クラブの25周年に出席出来なくて申し訳ありません。式に出席していただいた塩田さん共々一緒という事で私がスマイルさせていただきます。
- \* 小保方会員 25周年、ご苦労様でした。全員で作上げた姿勢が素晴らしかったと他クラブの方々からそのようなことばをいただきました。また、講演もすばらしかったとのことばもありました。感謝、感謝です。
- \* 関 会員 2月17日の創立25周年記念式典は大変お世話になりました。本年度のメインイベントが終了致しました。今後ともよろしくお願い致します。

## ◆ 皆出席表彰 仲田 プログラム出席委員長

- \* 半貫 一芳 君  
1981年12月より25ヵ年皆出席



## ◆ 外部卓話

## 「宇都宮市政について」

宇都宮市長  
佐藤 栄一 様



皆さんこんにちは。先頃は25周年記念式典にお招き戴きましてありがとうございます。その永い歴史に心からお祝いを改めて申し上げます。

市内の各ロータリークラブを訪問させて頂いておりますが、ロータリーの皆さんは宇都宮市にとりまして、「奉仕の精神」という意味ではかけがえのない方々ばかりでございます。これからも会員数の減少の問題はございますが、拡大を続けて戴いて活発なクラブ運営をして戴く事をお願いしたいと思います。

さて、先頃皆さんの記憶にまだ新しいと思いますが、古賀志山の火災がありました。2月5日に栃木県宇都宮市古賀志山(こがしやま)において、山火事が発生し、県防災ヘリが消火活動を行っていましたが、火の勢いが衰えないことから、栃木県知事から陸自宇都宮駐屯地司令に対し、山林火災の消火に係る災害派遣要請がなされました。自衛隊機の空中散布水量7500リットル(県防災ヘリ550リットル)あり、3機での空中消火活動を実施致しました。完全な消火とされるまでの確認で5日後の鎮火宣言発表となりました。宇都宮に自衛隊駐屯地があり、身近な所から防災機が来たという所から山火事が大きく広がる事が防げました。これによって自衛隊のありがたさが改めて感じた訳でございます。これが例えば他国からの武力行使の場合も想定し、その為に国民保護計画を宇都宮市は作っております。イザという時には市は県と力を合わせ自衛隊の指揮の下、其々の身体、生命、財産を守って行く一連の作業が出来るような計画になります。緊急防災会議を定期的に関き、災害対策会議を抜き打ちで行って行きたいと思っております。災害に強い街を造って行く為に思索として、他の町にあり宇都宮にないものは備えて行かなければなりません。市民の皆さんのご要望を受け時間を掛けながらも備えて行くには予算と的確な政策が必要になって参ります。

3月議会が2月27日に開会致しまして、宇都宮市の平成19年度の予算審議を行います。19年度予算は1643億円で、1市2町が合併致しまして昨年度合計と比較しますと2%増になりました。

宇都宮市の格の向上、住み易さの向上を目指す為には都市環境整備があります。東京・名古屋方面が微量ながら人口が増えています。少子化による人口減少で、政府系の調査では、2020年には人口が1億強になるであろうという統計も出ています。恐らく2050年には人口が8000万だいに減少するのではないかと非政府系の調査機関は数字を羅列しています。ですが人口増加している所もあり、これは人口が移動しているという事になります。地価が安くなり多くのマンションが建つ東京、特に便利な杉並区・江東区に移動していると思われまます。これからは住み易く便利で住み続けたい所に移動するのです。住み易さを供給出来なかった所は人口が減少し、場合によってはゴーストタウン化してしまう町これからは出てきます。それがこれからの都市環境整備であり、充分な都市機能をみにつけた町を造って行く事、外から見たときに宇都宮だったら住んでみたいという町を早急に造って行きたいと思っております。

予算に続き市の借金ですが、夕張市の様な破綻をするのではないかとウエイティング自治体が30~40あると言われております。宇都宮はこういったことはなく財政上中核市の中でも良いポジションにおります。しかし其々が都市環境整備の中で様々な手を打ち、合わせて国は財政改革を国だけで成し遂げようとし、市町村にそのしわ寄せが来る事が目に見えております。今の財政事情に甘んじることなく改革を打つ事を押して行かないと、宇都宮をはじめ市町村は野垂れ死にしてしまう事になりかねません。まず、借金はこれから

も減らして行き、平成 19 年度予算の中で 79 億円借金を減らし、平成 23 年まで減らし続けて行き、およそ 1000 億を切り 900 億円だいになります。平成 17 年の決算が出た時に宇都宮市は中核市 38 の内第 3 位にあがる事ができました。1 位をとるのではなく 30 年先 40 年先にも宇都宮市が持続できる町を今造る事、今から改革する事が大切です。今の良い時に惜しみなくあらゆる手を打ち、これからの子供達に負の遺産を背負わせなくても済む町にして行きたいと思っております。

宇都宮が先陣を切り、その他 32 市町が其々の特徴を活かした町が出来るかの影響を与えられるかと思っております。有効的確な予算配分をし、テーマとして「都市力の向上」「人間力の向上」を掲げて行きます。今後道州制の議論が活発化し、3 年後には正式に答申が出て参ります。その準備を怠る事がないようにしなければなりません。区分はまだ分かりませんが、区分された時に栃木県が中心にならなくてはなりません。今、宇都宮市は栃木県の県都としての求心力を持ち金銭の潤いや大企業の進出に付随し小企業も集って参りました。

宇都宮の中心市街地は宇都宮の顔と言うべき存在です。中心市街地の挺入れは先ず、定住人口の増加と交流人口の増加を課題として行きます。定住人口の増加により消費をうみ、金銭・物・情報が循環できる新市街地を作らなくてはならないと思っております。

現在の中心市街地は高齢化が進み、10 年前と比較して約半分に若年層(0~16 歳・22~44 歳)が減少致しました。就任時、若年夫婦の家賃補助をして定住人口を元に戻し、一つのコミュニティーを再生する事で踏み切らせて戴きました。今年 3 月で約 130 世帯が宇都宮に移住してきた事になります。これによって小学校入学予定者が 50 名程おり生徒数減少していた中心部の小学校に入学致します。

二荒山神社入り口東西のビルの東側馬場中央は、名称「馬車道スクエア」として 6 月にオープン致します。西側はマンションになり来年夏には解体工事が入る予定です。2500 平米の広場も出来ます。再開発組合の結成により、合同タクシーがありました一角がツインタワーとなります。人が住み交流人口が増える事で 50 万都市に相応しい新市街地になり、郊外も発達しています。こうした郊外の町ともカラーの異なった街を中心市街地に造って行く、つまり広いエリアの中に小さな店が点在しているものを大きなショッピングモールに見立てる事で、郊外型ショッピングモールの数倍の規模を持ち、多くの交流人口を得る可能性があります。オリオン通り・ユニオン通り・大通り・日野町通りの一帯をショッピングモールに見立てテーマパークのような町にして行く事で交流人口増加を図ります。

昨年行われましたトランジットモールの社会実験で 14 万人の方がお見えになりました。交通機関の充実により、歩いて生活が出来る中心市街地になりコンパクト化した街造りとして宇都宮市が中心になって参ります。

宇都宮は大変広いエリアとなり、合併により 312k㎡から 416k㎡になります。47 の自治会を結束し都市力を上げて行きます。そして事件事故犯罪をくい止めて行く為には人間力の回復が最も大切だと思います。その為に昨年より教育改革に着手致しました。家庭教育を柱にした学校教育地域教育の教育改革をスタートしております。平成 19 年は予算も付け家庭の親学を強化して行きたいと思っております。学校教育面で特に理数教育と道徳心の教育もして参ります。給食費問題での対応の手は緩めず、悪質な場合のみ強い姿勢で対応したいと思っております。

宇都宮が持続可能な街を作り、住む方も商売をされる方も持続できる社会を創って行きたいと思っております。皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。

\* うつのみやアグリファンクラブの紹介(パンフレット配布) \*

◆ 欠席の報告は例会の前日 9 時までにはお願いします ◆  
出席委員：仲田俊夫まで TEL028-635-2151 : FAX028-637-3930

事務局 TEL : 028-613-3238 (村上方) e-mail:minamirc@s7.dion.ne.jp  
TEL : 028-684-0628 (谷中方) FAX : 028-684-0728